

おらんく高知の

担い手づくりを探る

全国の専門家を迎えて討論

明日の個性豊かな地域づくり、人づくりを求めて、新たな発想と挑戦を――。

逸材は土佐の山間より」と銘打ったシンポジウムが、10月20日の午後2時から夜須町公民館で開催されます。

主催は、県や市町村振興協会



で構成する『明日を拓く手づくりシンポジウム実行委員会』。

今、全国で豊かな生き方を求め、新しい文化感や生活感に根ざした地域の活性化が図られています。このシンポジウムは、

これからの土佐の地域づくりに向けて、さまざまな領域の人との交流や多くの情報から、自らの能力の発掘など、いろいろな意欲を持ち、挑戦を始めるきっかけになれば――と願って開かれるものです。

コーディネーターは、皆さんご存じの高知放送の小椋克己さん。パネリストとして、全国の先進地から、次の皆さんをお迎えします。

○本厚夫氏（鹿児島県加世田市商工振興課参事）

地元特有の風土を最大限に生かし、我が国で初めて砂の彫刻をメインにしたイベントを興す。

新しいイベント活動の根底にある人間相互の葛藤や協調の中から地域づくり、人づくりを探る。

○神谷尚氏（埼玉県庄和町長）

住民総参加の行政を掲げ、

県庁職員から町長に。今、埼玉一いい町づくりに若い情熱を注いでいる。『体験的まちづくり論』と人づくりの方策を探る。

○松村賢治氏（松村建築研究所長）

ヨット世界一周等の実績を持つ冒険家であり、地域づくり研究家。遊びの研究を続け、心の交流と人間関係の豊かさなど、

体験と地域創造の発想を学ぶ。

○山田一郎氏（高知新聞社参事）

高知新聞紙上でおなじみの人。土佐の国づくりに奔走した龍馬や慎太郎などの人となり、その性格形成に影響を与えた一つの精神的人づくりを探る。

以上の全国的にも注目を集め

ている方々の、物づくり、人づくりへの討議を、自らの発奮と未来への発信源としてください。皆さんの参加をお待ちしています。

入場無料、市役所前から送迎バスが出ます。

詳しいことのお問い合わせは、市役所企画課企画調整係（☎21111内線422）まで。

ふるさと創生 地域づくり推進事業 『ふるさと見聞録』 締め切り迫る

ふるさと創生事業の一つの柱である人材育成事業の一環として、今年8月から平成4年度までの3年間、『ふるさと見聞録』を実施します。

これは、地域の問題に取り組んでいる市民の皆さんに、各自のテーマに沿って国内外で研修してもらい、その成果をもとに、個性豊かな地域づくりのリーダーとして地域の活性化を推進

してもらおうというもの。
2年度分の申し込みは10月31日までです。皆さんの積極的な参加をお待ちしています。

■対象 原則として高校生以上の南国市に居住する方で、次のいずれかに該当する方

○主体的に地域づくりに取り組んでいるか。取り組もうとしている方

○地域づくりのための施策を探求しようとしている方

○学校、職場で学術的に地域課題を調査、研修している方

■助成 研修に必要な経費のおおむね80%

■参加要件

○テーマ、動機などについてのレポートの提出

○日程、行程等の詳細なスケジュールの明示

○研修報告の作成

○研修後の実践活動

○自主的な組織で参加者が相互に連携して活動すること

参加者は、『ふるさと見聞録』選考委員会で決定します。

募集要綱など詳しいことのお問い合わせは、市役所企画課企画調整係（☎21111内線421）まで。